

「華宵？虹児？あなたの推しはだあれ？」

抒情作家の活躍



▲「婦人グラフ」(竹久夢二画)とPR誌「三越」

竹久夢二を筆頭に、高島華宵や落谷虹児など、抒情作家と呼ばれる画家が登場し、当時流行った少女雑誌の表紙や口絵を飾り絶大な人気を博しました。

その甘くセンチメンタルな美人画には多くの少女の熱いまなざしが向けられていたのです。彼らはまた商業デザインにおいても、才能をいかんなく発揮しており、雑誌の装丁やレコードジャケットの図案などに足跡が残されています。

▼モダンガールによる化粧品広告

「おしゃべさん？ それとも、やんちゃ娘？」

モダンガールの登場

大正時代の後半から、髪型を斬髪ボブにして釣鐘型の帽子をかぶり、ハイカラな洋服をまとった女性が街中を闊歩しはじめました。旧来の慣習や考え方にとらわれず、奔放に人生を謳歌する「モダンガール」と呼ばれる人々です。その姿は写真やイラストで、広告や雑誌表紙などに頻繁に登場します。

現代でも「モダンガール」に興味を持つ人が多く、テーマにした書籍や、企画展は人気があります。古き良き時代への憧れでしょう。

※資料はいずれも個人蔵



INFORMATION

大阪市立住まいのミュージアム
大阪くらしの今昔館

TEL: 06-6242-1170

FAX: 06-6354-8601

<https://www.osaka-angenet.jp/konjyakukan/>

〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20
住まい情報センタービル8階

休館日 毎週火曜日、9月2日～6日

開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

入館料

企画展: 500円

常設展+企画展セット券:

一般: 1000円/団体900円

高・大学生: 700円/団体600円 (要学生証原本提示)

※団体は20人以上 ※中学生以下、障がい者手帳・マイID等持参者(介護者1名含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料(要証明書原本提示)

アクセス

■Osaka Metro堺筋線・谷町線、
阪急電鉄「天神橋筋六丁目」下車3号出口直結
エレベーターで8階へ

■JR大阪環状線「天満」駅から北へ650メートル



主催 大阪市立住まいのミュージアム (大阪くらしの今昔館)
協力 佐野宏明、株式会社クラブコスメチックス、株式会社
桃谷順天館、橋爪節也、想い出博物館北川和夫、のぼら珈琲、
lastwaltz 1976、和ガラスミュージアムJ&K (敬称略)

学芸員の
おすすめ
コレクション

大阪歴史博物館

なかのおおえ

かまたり

かいこう

しろまり

ふすべまり

中大兄と鎌足の邂逅 — 白鞠・燐鞠及び扇蒔絵鞠台 —

『日本書紀』皇極3(644)年正月の条文には、中大兄皇子と中臣鎌足が「打鞠」の場で出会ったとみえます。打鞠については、蹴鞠を指すという説とポロのような球技との説がありますが、脱げた中大兄の沓を鎌足が拾ったとあることから、蹴鞠説が有力です。本資料は観賞用に用いられる飾り鞠で、紅白一対のものが多く、このような白鞠と燐鞠の組み合わせは珍しいといえます。鞠台には銀細工を施し、鞠扇や桐を蒔絵であらわします。中央には「日の丸扇子」の文様も施されることから、佐竹家伝来の調度品ではないかと考えられます。

大阪歴史博物館 学芸員 俵 和馬

※今回紹介した資料は、大阪歴史博物館で開催中の「難波宮発掘開始70周年記念 大化改新の地、難波宮—古代日本のターニングポイント—」【会期:7月5日(金)～8月26日(月)】にて展示いたします。

最新情報はホームページにてご確認ください。

住所 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 TEL 06-6946-5728 FAX 06-6946-2662

アクセス ●Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・⑨号出口 ●大阪シティバス「馬場町」バス停前



白鞠・燐鞠及び扇蒔絵鞠台 江戸時代
大阪歴史博物館蔵

大阪市立の博物館・美術館・動物園 Osaka Museums <https://museums.ocm.osaka>

大阪歴史博物館

大阪城天守閣

大阪市立自然史博物館

大阪市立美術館

大阪市立東洋陶磁美術館

大阪市文化財協会

大阪市立科学館

天王寺動物園

大阪中之島美術館

大阪くらしの今昔館